

令和8年3月26日

釧路信用組合

第20回経営審査会議の概要について

当組合では、外部有識者から経営全般にかかる助言・提言を受け、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化するため、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営審査会議」を設置しております。

今般、第20回経営審査会議を開催致しましたので、その概要につきまして、下記の通り、ご報告させていただきます。

記

1. 日時 令和8年2月18日（水） 15時～16時15分

2. 場所 釧路信用組合 本店4階 役員会議室

3. 出席者 （経営審査委員）

尾崎 泰文	釧路公立大学経済学部	教授
養島 弘幸	稲澤法律事務所	弁護士
清水 政秀	釧路商工会議所	事務局長

（事務局）

忠村 浩志	理事長
河西 豊彰	常務理事
堀 充利	常勤監事
西尾 浩隆	総務部長

4. 事務局からの資料説明要旨

令和7年度仮決算状況、第四次経営強化計画の履行状況、令和7年度収支計画及び現在の収支状況について説明しました。

経営全般についての意見交換

(1) 出席者から頂いた助言・提言等

- 有価証券運用の含み損には留意願いたい。
- 事業性評価の際に、ESG（環境対策・社会的責任・企業統治）についても評価項目とする対応を検討してはどうか。
- ソリューション営業について、如何にして中小事業者から評価を得るかが大切である。
- 今まで以上に不透明な融資環境であり、慎重な対応を求めたい。
- 地域金融機関として、クラウド交流会や創業支援など中小企業支援を継続してほしい。
- 定期預金の金利上昇を契機に、信用組合で取り扱いしている有利な商品を営業に活用し、預金増強に努めてもらいたい。

(2) 忠村理事長からの回答

多くの貴重な意見をいただき感謝申し上げます。

不動産関係融資について等、本日ご指摘いただいた意見は、今後の業務運営に反映させてまいります。

本日は、ありがとうございました。

以 上